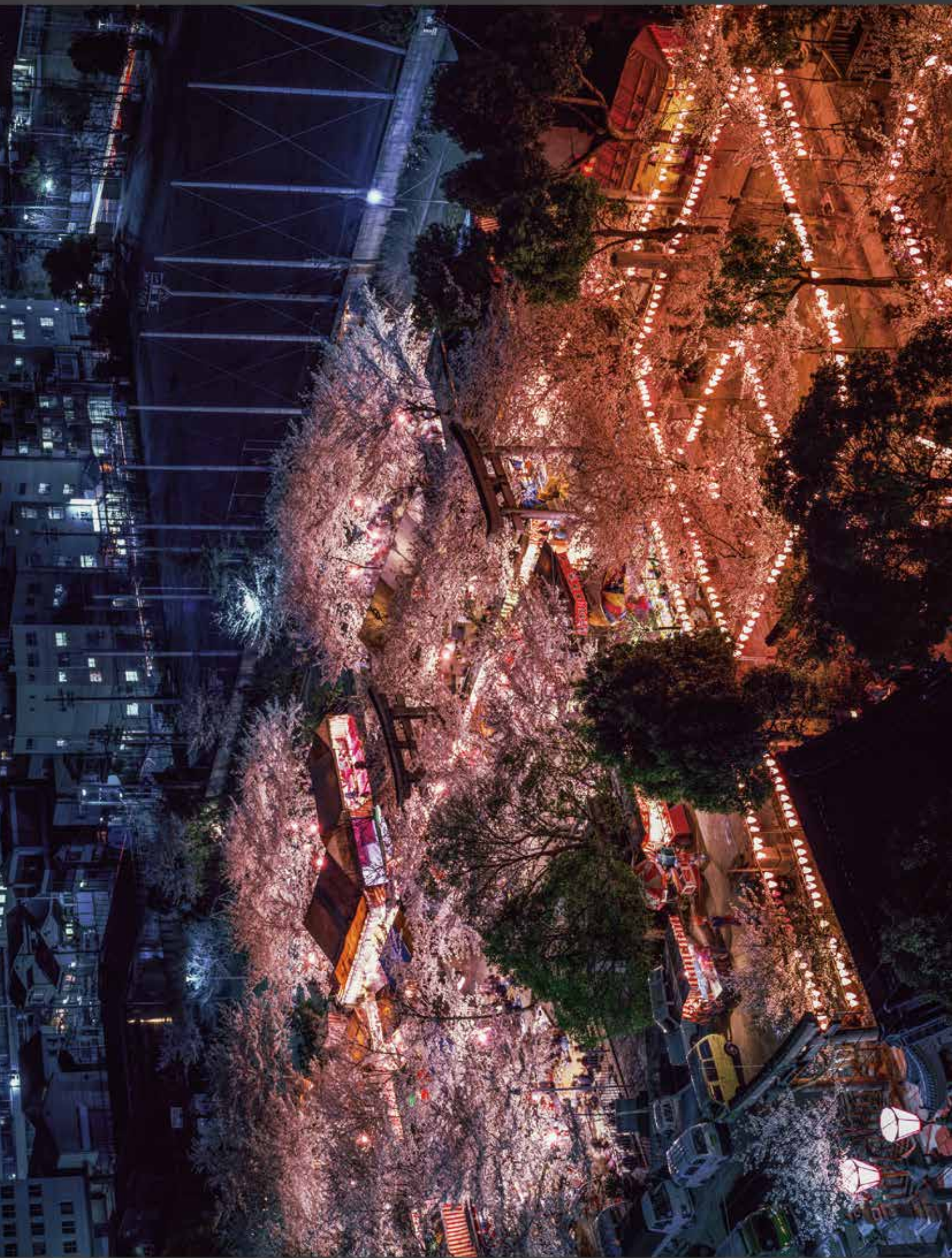


建築人

2025
4

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.730





建築人

2025.04 No.730

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「イシダ本社」2023年

第16回 建築人賞奨励賞 受賞作品

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

撮影：古川泰造

世界的ハカリメーカー「イシダ」の京都本社の建替計画。創業時から継承した庭園の再修景をトリガーとし、建築主の経営理念である「三方よし」になぞらえた「三つのつながり」を創出した。大通りの喧騒から一歩中に入れば、奥に庭の気配を感じる静謐な空間が広がる京都の邸宅の様な建築の在り方を追求した。

2 大阪浪漫

4 Gallery 建築作品紹介

「京都実践倫理会館」

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

「MISALIGN and LIGHT」

設計：マニエラ建築設計事務所

施工：西友建設

「森との会話をたのしむ家」

設計・監理：HTAデザイン事務所

施工：岡本工務店

7 シリーズ 大阪・関西万博をめぐる

8 第43回大阪都市景観建築賞
(愛称 大阪まちなみ賞) 入賞作品

12 動静レポート

13 Topics

14 Information

16 News of Note

18 記憶の建築

「弘前市庁舎」1958年

城址との対話が育んだもの / 松隈 洋

大阪浪漫

(1985年・土佐稲荷神社)

写真・文 喜多 章

1985年に西区北堀江の知人宅を訪ねた折、見下ろすと満開の夜桜がライトアップされていた。

これは撮らなきゃと思い、早速車に積んである4×5カメラを持ち出しビルの上から撮影した写真。

ほのかな日本酒の香りやタコ焼きの匂いが下から漂って来て、撮影しながらボ〜と眺めていた記憶がある。

建築人 No.730 2025年4月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央(編集人代表)

編集人：武藤優哉 石上芳弘 荻窪伸彦 河崎太平

昇 勇 橋本頼幸 春岡須磨子

三谷勝章 村上栄司 山本恭史

事務局：辻本和人 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和7年4月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



1978年竣工、京都駅前の商業エリアに位置し、毎朝の集会やイベントで長年親しまれてきた会館を改修するアップサイクルプロジェクトである。既存建築の「外部の3層吹抜・駐車場・設備バルコニー」を庭に置換し、外部環境の変化が空間に特徴を与え居場所を創ることを考えた。廊下型プランから、空を反射し、光を導くアルミパネルを設えた光庭を中心とした回遊式プランへ再編することで、利用者の関係が吹抜けを介して立体交差する場へ再生する。

老朽化した内外装や設備をただきれいに戻すのではなく、外部空間の役割を「分断」から「接続」へ転換することで、建築の記憶を継承しながら新築では獲得できない豊かな時間を生み出し、さらに利用者に愛される建築となることを願う。

所在地：京都府京都市
用途：研修所
竣工：2024.12
構造規模：RC造
地上3階
敷地面積：850.78㎡
建築面積：497.03㎡
延床面積：1392.17㎡
写真：古川泰造



テラスで家族団欒の時間を過ごしたいとの要望で、周囲にあるマンションからの視線を遮りながら豊かな空間が創造できるよう計画を行った。LDKとテラスは窓を開けると一体の空間となるようにし、テラスは上からの視線を上部を囲い込む2段の浮き壁により遮り、プライバシーを確保しつつ空に開放的な空間とした。また、浮き壁にズレを生じさせ、隙間からの光や風がテラスに時間を刻む計画とした。

外観は、地下の木板貼、1階テラスを囲うルーバー、2階と屋根スラブから張出したRC浮壁の三層構成とし、木材の温かみ、ルーバーの繊細さ、RCの重厚感にテラスから溢れ出る植栽が彩を加え独自の外観としている。

所在地：兵庫県西宮市
用途：専用住宅
竣工：2024.12
構造設計：海野構造研究所
構造規模：RC造
地下1階
地上2階
敷地面積：334.75㎡
建築面積：187.50㎡
延床面積：375.61㎡
写真：松村芳治



計画地は眺めの良い高台にあり、隣には森の木々が生い茂る。前面のバス通りからのプライバシーに配慮しつつ、光・風・緑の自然を感じながら快適に暮らせるバシプデザインの住まいを計画した。より森の木々を感じられるように家族が集まるLDKを2階とし、そこから森に開かれたインナーバルコニーが連続するように大開口のサッシを設けた。階段の踊場を活用したスキップフロアはトップライトを設けることで、自然光の下で家族団欒の場となり、玄関まで届く光は明るい住まいの象徴でもある。断熱性能は充填断熱+外張断熱+樹脂サッシの構成で外皮の性能を上げUA値0.28(断熱等級6)を実現し、床下冷暖房システムと合わせて猛暑の夏もエアコン1台で快適に過ごせている。(高原・浅井・植村)

所在地：兵庫県宝塚市
用途：専用住宅
竣工：2024.05
構造規模：木造2階建
敷地面積：245.60㎡
建築面積：120.94㎡
延床面積：237.98㎡
写真：母倉知樹

大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn

大阪の成長を発信する次世代環境共生建築



提供：(公社)大阪パビリオン

光・木・水を再構築した環境共生建築

大阪ヘルスケアパビリオンは、大阪・関西万博において開催都市である大阪府・大阪市が出展するパビリオンです。「REBORN」(人は生まれ変わる、新たな一歩を踏み出す)というメインテーマのもと、下記の3つを設計コンセプトとして掲げました。

- ①大阪の新たな成長を発信するランドマーク
- ②有機的につながる、ひとつつながりの回遊性
- ③自然を感じる次世代環境共生建築

大阪の木は海から渡ってくると言われるように、海と川に恵まれた地形と、全国各地から集まった木材により「水都大阪」は魅力的な都市へと成長してきました。また、大阪では多様な個性が集まり、影響し合い、発展してきたことを体現し、大阪から新たな成長「REBORN」を発信するパビリオンを目指しました。「水」が流れる「膜」で構成された多様な屋根の集まりが、「木」の建築を覆う、新たなランドマークを創出しました。

直線的な要素をできるだけ用いず、有機的な形態の組み合わせで空間を生み出しました。ひとつとして同じ形がない膜屋根は多様な個性が集まる大阪を体現しています。膜屋根の各曲面は数種類の半径から成る球体同士をトリミングして生み出した球面により構成されています。



屋根の材料には、複雑な形状に柔軟に対応でき、軽量で透明な素材であるETFE膜を使用しており、日中は自然光を取り込み照明負荷を低減する一方、夜間は屋根全体が発光体として浮かび上がります。屋根の上には循環させた水を流し、屋根全体を包む「ウォーターベール」を創出します。水は屋根から水盤に流れ落ち、濾過を経て再度屋根から流れる循環型システムを構築しています。

内外装とも大阪府内産の木とすることで、木の温かみ・香りに包まれ、穏やかな光が木漏れ日のようにこぼれ落ちる空間となり、次世代の環境共生建築を体験できるパビリオンを目指しました。

(東畑建築事務所)

第43回大阪都市景観建築賞(愛称 大阪まちなみ賞)入賞作品

主催 大阪府・大阪市・(公社)大阪府建築士会・(一社)大阪府建築士事務所協会・(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会・(一社)日本建築協会

◆表彰目的 周辺環境の向上に資し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心とするまちなみを表彰することにより、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、都市景観に対する意識の高揚を図ることを目的とする。

◆対象 大阪府域内の建物(令和元年8月1日から令和5年7月31日までに完成したもの)及び建物を中心としたまちなみ(令和5年7月31日までに完成したもの)で、一般の方々から推薦を受けたもの。

◆審査委員 ※50音順 審査委員長*

嶋 高宏(デザイン)
(一社)総合デザイナー協会DAS常任理事
寺地 洋之(建築)
(公社)大阪府建築士会特任顧問
吉村 英祐(建築)
(一社)日本建築協会常任理事

島 俊彰(新聞)
朝日新聞ネットワーク報道本部本部長代理兼統括マネジャー
橋寺 知子(建築)
関西大学環境都市工学部建築学科准教授
若本 和仁(都市計画)
大阪大学大学院工学研究科附属フューチャーイノベーションセンター准教授

下村 泰彦*(造園)
大阪公立大学名誉教授
藤本 英子(芸術)
京都市立芸術大学名誉教授

◆審査総評

本年度の審査対象は、昨年度と同様52件であった。昨年度の建物49件が本年度47件、まちなみ3件が5件となっており、傾向に大きな変化はなかった。例年通り審査資料にもとづいた1次審査で11件を選出し、現地審査による2次審査を行った。今年度も、現地審査においては、敷地周辺の公的空間から視認して審査することとし、現地での設計者等の説明を割愛することとして実施した。2次審査では、投票が集中した上位作品について慎重に審議した結果、大阪府知事賞に「光亜興産株式会社 本社ビル」を、大阪市長賞に「三栄建設鉄構事業本部新事務所」、審査員特別賞に「しらさぎ子ども図書館-詩の森-」を選出した。「光亜興産株式会社 本社ビル」は、隣接する都市公園と視覚的にも行動的にも一体感を創出し、テラスの緑化による緑が繋がる

景観を呈していた。「三栄建設鉄構事業本部新事務所」は、工業系地域にあって建築物と工場の鉄骨フレームを強調し、オープンな外構が地域イメージを向上させ、「しらさぎ子ども図書館-詩の森-」は、ぬくもりのある景観を呈しながら住居系地域の交流拠点となっていた。緑化賞の「医療複合施設 i-Mall」は、街区を超えた公開空地に十分な緑化を施し、連続的な景観を創出し、建築サイン・アート賞の「満寿美公園」は、都市公園でありながら地形勾配を活かした象徴的でアーティスティックなデザインとなっていた。奨励賞を授与した「サンスターコミュニケーションパーク」は、工場跡地において周辺地域に十分に緑を供給するオフィスビルに変容させ、「T-LINKS」は、大屋根とテラス、緑化が工業系地域にシンボリックな景観を呈していた。また、「本町ガー

デンシティテラス」は、御堂筋側の緑化テラスが街路景観との連続性を形成し、「高槻城公園芸術文化劇場」は、隣接する公園とともに歴史的雰囲気醸し出して

していた。「富田林の家」は、平屋建てとして建物高さを抑え、セットバックされた部分の緑地が地域へのゆとりのある空間と緑量を供給していた。今回、各賞を受賞した施設については、地域における今後の景観を先導するシンボリックな施設のみならず、周辺土地利用や立地特性に配慮し、周辺景観と調和した施設が多いことが特色であった。



審査委員長 下村泰彦

審査風景



大阪府知事賞 光亜興産株式会社 本社ビル



建築位置：門真市末広町43-1

完成年月：2022年9月

主用途：事務所

建築主：光亜興産(株)

設計者：(株)日建設計

施工者：日本建設(株)

撮影者：長屋明・Buddy'P

〈講評〉当施設は、建物配置において、エントランスホールの開口部を北側に隣接する都市公園側に配置することにより、公園と視覚的にも行動的にも一体感を醸し出すデザインとなっている。また、緑に関しては、公園から連続する外部階段やテラス軒先を緑化することにより、緑豊かな環境と連続した景観が創出されており、駅周辺の近隣商業地域に位置している中、まちのランドマーク的な拠点として、地域に根差した緑豊かな景観づくりに寄与している。（審査委員長 下村泰彦）

大阪市長賞 三栄建設鉄構事業本部新事務所



建築位置：大阪市大正区南恩加島6-2-21

完成年月：2020年10月

主用途：事務所

建築主：(株)三栄建設

設計者：(株)竹中工務店

施工者：(株)竹中工務店

撮影者：母倉知樹

〈講評〉まちと、ものづくりの現場の新たな関係性をつくり出しているこの事業所は、鉄骨製作現場のクレーンを奥に見せながら、前面の大正通りに面して歩道沿いにしっかり緑地帯をとり、事務所棟の外壁を壁面、ガラス面とを見事に取り合いながら、変化ある空間構成が外部に滲み出ている。前面に広がる1650㎡の芝生広場が、見事に手入れされ思わず手触りを確認した。隣接する北側の住宅への配慮では、お社のある小さな鎮守の森を活かす。夜間は外部から見え隠れする事務所内の活動が、実に美しい場として滲み出す。入り口の門扉横にある社名サインでは、製造する鉄骨を抜いた文字で、ものづくりの現場を表している。（審査委員 藤本英子）



審査員特別賞 しらさぎ子ども図書館－詩の森－



建築位置：堺市東区白鷺町1-19-19
完成年月：2023年3月
主用途：集会所
建築主：公益財団法人 しらさぎ育英基金
設計者：ユカワデザインラポー級建築士事務所
施工者：(株)ヴィーコ
撮影者：田中克昌

〈講評〉建物は街並みに自然に溶けこんだライトなデザインで、誰でもが馴染める子ども食堂も併設された図書館らしい明るい空間が心を和ませる。子ども達と一緒に来た両親も集える空間もあり、近くの公園との融和性がさらに子ども図書館らしさを引き立たせる。なによりも、この子ども図書館は民間のある個人の方の寄贈で創られた無料の図書館で、まわりの街並みを引き立たせる単なる景観を超え、見事に未来にも引きつがれる文化を創成する場として輝いている。（審査委員 嶋 高宏）

緑化賞 医療複合施設 i-Mall



建築位置：大阪市北区南扇町4-14
完成年月：2023年6月
主用途：病院 劇場 商業施設
建築主：医療法人医誠会
設計者：(株)安井建築設計事務所
施工者：清水建設(株)
撮影者：津田裕之 エスエス大阪

〈講評〉病院を中心に、劇場、映画館、コンビニなどの多機能を2つの敷地（一団地総合設計）に複合計画し、3層吹き抜け列柱、外壁セットバック、街角ひろば、屋外大階段、アートストリートなどの建築手法で豊かなまちなみづくりに寄与した優れた取り組み。歩道状公開空地には120本の桜を配し、沿道ベンチやカフェテラスなどとともに隣接する扇町公園と野崎公園との緑のネットワークを連続させることで地域のみどり環境を増幅させている。（審査委員 寺地洋之）

建築サイン・アート賞 満寿美公園



建築位置：池田市満寿美町9-4
完成年月：2022年3月
主用途：都市公園
建築主：池田市
設計者：(株)日建設計
(株)岩瀬諒子設計事務所
(株)UMA design farm
施工者：(株)堀野工務店
撮影者：ポラーデザイン

〈講評〉「開かれた街区公園」は、ベビー・キッズルームやトイレと一体化した「登れる丘」という微地形が子どものさまざまな行為を誘発し、土木との境界を越えて公園全体が一つの建築となった、前例のない魅力あふれる空間を創出している。どこからでも入れるようフェンスをなくし前面の歩道と一体的に整備するなど、行政の理解と協力を得ることで街区公園の新たな可能性に挑戦しており、将来のまちの景観をリードしていく存在としても高く評価される。（審査委員 吉村英祐）

奨励賞 サンスターコミュニケーションパーク



建築位置：高槻市明田町7-1
完成年月：2020年11月
主用途：事務所
建築主：サンスター(株)
設計者：(株)小林・槇デザインワークショップ
KAJIMA DESIGN
オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
(株)ランドスケープデザイン
施工者：鹿島建設(株)
撮影者：津田裕之 エスエス大阪

〈講評〉工場跡地を利用したオフィスであるが、建物高さを3層に抑えることによりボリューム感を軽減するとともに、敷地四周の外周道路側に十分な緑地帯を配置することにより、空間的にゆとりのある景観と緑量感を提供している。（審査委員長 下村泰彦）

奨励賞 高槻城公園芸術文化劇場



建築位置：高槻市野見町6-8
完成年月：2023年1月
建築主：高槻市
設計者：(株)日建設計
撮影者：伊藤 彰／アイフォト

主用途：劇場
施工者：(株)大林組

〈講評〉高槻城址に建つ。建物に具体的な歴史表現はないが、全体の構成は城郭建築を思わせる。外構には緑地、堀や塀が効果的に配置され、日常的に建物沿いを歩くことができる。ホルーパーごしに内部が見え、開かれた公共空間を体現している。（審査委員 橋寺知子）

奨励賞 T-LINKS



建築位置：高槻市明田町4-38
完成年月：2022年11月
建築主：太陽ファルマテック(株)
設計者：大成建設(株)一級建築士事務所
施工者：大成建設(株)関西支店
撮影者：左海一郎 株式会社エスエス

主用途：厚生施設

〈講評〉直線的なデザインだが、全く威圧感がなく、古来からある日本の建物のひさしを意識した優しさが感じられ、地域全体の街並みに溶けこんでいる。特に出っ張ったひさしに自然が創る昼、夜の変化を持たせるアイデアは心を和ませる。（審査委員 嶋 高宏）

奨励賞 富田林の家



建築位置：富田林市
完成年月：2021年6月
建築主：三谷勝章、三谷直子
設計者：三谷勝章、柳室純構造設計（構造）、荻野景観設計(株)（造園）
施工者：いなせ建設(株)
撮影者：鳥村鋼一 鳥村鋼一写真事務所

主用途：戸建て住宅

〈講評〉森の入り口のような陰影を感じる佇まい。それが背後の木立の緑を遮らず、謙虚に斜面奥に隠れた建物の配置にあると気づく。住宅街でのプライバシー確保をより前向きに捉えられる景観づくりの例として好感が持てた。（審査委員 島 俊彰）

奨励賞 本町ガーデンシティテラス



建築位置：大阪市中央区安土町3-5-13
完成年月：2023年3月
主用途：事務所
建築主：積水ハウス(株)
(株)住友倉庫
設計者：(株)大林組（実施設計・監理）
(株)日本設計（基本設計）
施工者：(株)大林組
撮影者：株式会社社伸和

〈講評〉御堂筋の高さ制限に対し、緑化されたバルコニーというユニークなデザインで応えたオフィスビルである。効率が重視されるオフィスビルが立ち並ぶ都心の景観に、ゆとりとうるおいを与える新しい提案となっている。（審査委員 若本和仁）

動静レポート

会長動静

- 2/26 命を守るひと部屋断熱・耐震シンポジウム、国土交通省建築指導課・豊嶋課長面談
- 2/27 大阪府収用委員会
- 3/3 全国大会実行委員会
- 3/5 日本建築センター・橋本理事長面談
- 3/6 命を守るひと部屋断熱・耐震シンポジウム
- 3/7 命を守るひと部屋断熱・耐震 WG
- 3/8 上海市勘察設計行業協会交流会
- 3/9 健康・省エネ住宅国民会議・上原理事長面談
- 3/10 クマリフト(株)・熊谷社長面談
理事・部門長面談
- 3/11 大阪府収用委員会
- 3/12 日本建築士会連合会正副会長会議
- 3/13 全国大会国際シンポジウム会議
- 3/14 修成建設専門学校卒業式、正副会長会議、在阪4団体会長・支部長会議
- 3/18 近畿建築確認検査協会・澤田会長面談、健康・省エネ住宅国民会議・上原理事長面談
- 3/19 理事会
- 3/23～3/25 釜山広域市建築士会定期総会

3月度 理事会報告

日時 3月19日(水) 16:00～17:30
場所 KKR ホテル大阪
出席 理事 39/46名 監事 2/2名
名誉会長他 12名、役員候補者 7名

(1) 入退会の承認

(人)	2月	入会	退会
正会員	2,173	14	10
準会員	28	0	0
特準会員	21	0	0
賛助会員	148	3	1
計	2,370	17	11

(2) 会計報告

(円)	2月計	累計
収入	6,669,713	127,156,117
支出	10,072,005	115,788,911
差引	△ 3,402,292	11,367,206

上表の当期経常増減明細を承認しました。

- (3) 令和6年度決算見込み
淡輪山荘改修工事業務、耐震診断業務、能登半島での広域災害調査業務の増収により、約570万円の黒字で推移していることを報告しました。
- (4) 令和7年度の事業計画
公益目的事業部門は(公1)地域社会へ貢献を図る事業、(公2)建築文化の発展を図る事業、(公3)建築士の育成等を図る事業の3区分、及び収益事業部門とその他事業部門の3部門とした目的とその事業内容を承認しました。
- (5) 令和7年度の収支予算
各部門の実績提示額を基に審議し、収支総額16,420万円、差引額0円の予算を報告しました。
- (6) 資金調達及び設備投資の見込み
令和7年度は資金調達及び設備投資の見込みはないことを承認しました。本議案(4～6)の承認により公益認定法施行規則第37条(事業計画書等の提出)に基づき府に提出します。
- (7) 定時総会の開催日時と会場、記念講演
令和7年度定時総会は、5月28日にKKRホテル大阪で開催し、藤本壮介氏を迎えてご講演いただくことを承認しました。
- (8) 令和7年度の組織・会務分掌案
追加の次期役員候補者1名を含む理事45名、監事2名による役員の会務分掌案を承認しました。役員候補者は5月の定時総会で選任されます。
- (9) 外部理事・監事登用に伴う定款の変更案
公益認定法の改正に伴い、令和7年度に外部監事1名、令和8年度に外部理事1名を登用するための定款の変更案について承認しました。
- (10) 賛助会員細則案
賛助会員の入会促進につなげるための細則案について、一部文言を修正のうえ承認しました。
- (11) おおさか大会の進捗状況について、下記の通り報告しました。

- ①大会参加の募集期間は4/10～6/15
- ②特別チームによる国際シンポジウムの開催
- ③式典および大交流会の司会者候補の決定

役員・賛助会員交流会の開催

3月19日の理事会終了後、本会役員と次期役員候補者の交流会を開催しました。今年度は賛助会員の皆様にもお声がけし、日頃の本会活動への協力を御礼申し上げるとともに、全国大会を一緒に盛り上げていただくようお願いいたしました。来年度以降も継続して開催予定です。



上海市勘察設計行業協会と意見交換

3月8日に中国の上海市勘察設計行業協会の叶松青副会長を団長とする訪日団7名が来会され、両会の現状や活動について意見交換を行い、技術・文化の相互発展を目的とした交流を今後も継続していくこととしました。



大阪市から高齢者住宅改修費給付審査業務を受託

令和7年度の「大阪市高齢者住宅改修費給付事業」の審査業務を、大阪市福祉局から昨年度に引き続き受託しました。本事業は、居宅介護住宅改修費を利用する方に対し、介護保険制度を補完する制度として工事費用の一部を給付する大阪市独自の制度です。本会では高齢者の住宅改修に詳しい女性委員会が中心となって担当しており、審査内容のチェックを行うなどの業務を務めております。

第19回国際企画海外研修旅行「タイ王国 微笑みの国で微笑もう」

日程：令和7年2月20日(木)～2月25日(火)

会場：タイ王国(バンコク、スコータイ、アユタヤ、チェンマイ)

参加者：9名

本土会が主催する海外研修、実は番外編を含めると本研修が実質の20回となります。20年以上続けてこられた国際委員会特任相談役森田氏のご尽力に敬服いたします。参加メンバーの中で若輩者の私ではありますが、僣越ながら今回の報告も担当させていただくことになり、悪文で恐れ入りますが、ご容赦願えれば幸いです。

初日の20日は、日本から約5・6時間でスワンナプーム国際空港に到着、乗り換えでチェンマイのホテルに夜に到着しました。

21日は、城壁と堀に囲まれたチェンマイの旧市街を中心に見学しました。ワットプラ・シン、ワット・チェディ・ルアンなどの寺院や、ランナー建築・文化を見学できるランナー建築センター、チェンマイ国立博物館などを訪れました。その日のうちに、約300km離れたスコータイに移動しました。

22日は、スコータイ歴史公園(世界遺産)の

ワット・シーサーワイやワット・マハータートなど、大小200もある遺跡群を見学しました。スコータイは、13世紀にタイ族による最初の王朝が開かれたところです。そして22日中にスコータイから南下し、バンコクへ向かいました。

23日は、バンコク国立博物館を見学後、タイの歴史上最大の王朝の都であったアユタヤに向かい、アユタヤ歴史公園(世界遺産)、ワット・ナーブラメン、バンパイン宮殿などを見学しました。また、夕食はチャオプラヤ川ディナークルーズで、ワット・アルンなどのライトアップされた寺院をメインに夜景を楽しみました。

24日(25日早朝空港移動のため、実質最終日)は、バンコク市内の王宮、ワット・プラ・ケオ(エメラルド寺院)、ワット・ポー(涅槃寺)、旧国会議事堂などを見学し、夕方はタイ竹中の橋高氏と交流、外国からの直接投資は中

河野 学(国際委員会 担当理事)



国が1位であることなど、タイの建築事情を教えてくださいました。

以上、各都市滞在日が1・2日程度で、次から次へと入ってくる情報量で消化不足のところがありますが、大きなトラブルなく、日本に帰国できたことは、団長の岡本会長、副団長の横田副会長、コーディネータの森田特任相談役、大阪府建築士会事務局の皆様、参加者の皆様のご尽力・協力によるものであり、心より厚くお礼申し上げます。



ワット・チェディ・ルアン仏塔前にて

建築相談室から(94) 区分所有法の改正

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

1月号2月号と2回にわたって分譲マンションの第三者管理について問題提起をしましたが、今回はこの2025年通常国会で議論されている「区分所有法の改正」について話題提供します。区分所有法が改正されるのは2002年以來の約20年ぶりです。

マンション管理の円滑化

建物自体の老朽化と区分所有者の高齢化という、いわゆる「二つの老い」がよく話題になります。空き家が増え、所在・連絡先不明な所有者が増え、相続放棄されると、建物の管理に多大な影響が生じます。このような場合、集会(いわゆる総会)決議の円滑化を図るために所在等不明区分所有者を集会の決議の母数から除外できることが議論されています。加えて、これまで、出席・委任・議決権行使のいずれも使わず欠席していた区分所有者は「反対」票とされていた集会決議において、出席者の多数決による決議を可能とする仕

組みが検討されています。これで管理が円滑になることが期待されています。

マンション再生の円滑化

今回の改正案では、共用部分の変更決議(4分の3以上を3分の2以上に)、建替え決議(5分の4以上を4分の3以上に)それぞれ決議要件が緩和されます。

法律の正式名称

紙面の都合で詳細な法律改正案についてご紹介できませんが、令和7年通常国会で議論されている法律の正式名称(仮)は「老朽化マンション等の管理及び再生の円滑化等を図るための建物の区分所有等に関する法律等の一部を改正する法律案」です。「老朽化マンション」対策である事を前面に押し出しています。また、この法律は、マンション関連の3法律、区分所有法改正案、マンション建替え円滑化法改正案、マンション管理適正化法改正案をまとめたような法律になります。従っ

て前半で延べた区分所有法改正案のほかに、円滑化法では大規模なリノベーションなどの事業手法について改正が検討されており、適正化法では前回までに紹介した外部管理者方式を導入する場合の規制などが検討されている。

区分所有建物の将来

区分所有建物は今後どうなるのか、国はどうしたいのか、法律の改正議論を見ていると透けて見えることがあります。そもそも今回国会提出されている法改正案は、提出は国交省ですが、円滑化法と適正化法は国交省所管ですが区分所有法は法務省所管です。所管をまたいでいる点は特徴的で、マンションを取り巻く諸問題は無視できない社会問題になっていると国も考えている証左だともいえます。今区分所有建物の未来について真面目に考える時期が来ているともいえますし、建築士ができることはまだまだあるのではないのでしょうか。

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

- (業務内容)
耐震診断報告書や耐震補強計画案の審査、評価等
- (対象建築物)
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
- (会員特典)
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料が10%割引となります。

令和7年建築士試験案内

- 受験申込は、原則として「インターネットによる受付」のみとなります。
- 二級・木造建築士試験
 - ◇インターネットによる受付期間
令和7年4/1(火) 午前10時～
4/14(月) 午後4時
 - ◇学科試験日
二級 7/6(日)
木造 7/27(日)
 - ◇設計製図試験日
二級 9/14(日)
木造 10/12(日)
 - 一級建築士試験
 - ◇インターネットによる受付期間
令和7年4/1(火) 午前10時～
4/14(月) 午後4時
 - ◇学科試験日
7/27(日)
 - ◇設計製図試験日
10/12(日)
- ※受験申込の詳細については、建築技術教育普及センターのホームページをご覧ください。
- <https://www.jaeic.or.jp/>

令和7年度監理技術者講習
4/18、5/14、7/24、9/26 CPD6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。

日時 4/18(金)、5/14(水)、7/24(木)、
9/26(金)
各8:55～17:00

会場 本会会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会HPより
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

広域災害調査技術者講習会
第一回『一般火災保険会社の地震保険調査(RC造編)』
4/24 CPD5単位

本研修会は、近年ますます懸念が膨らむ大規模な災害に備えて建築士の職能を活かした取り組みの一環として、社会的復旧・復興に資する建物被害等の損害鑑定業務等の調査練度を向上させるため、近畿二府四県の会員向けに開催します。

日時 4/24(木)
10:00～16:00(受付9:30～)

講師 内山鑑定株式会社 大阪本部
上川部長 1級鑑定人

定員 対面方式(定員30名)+WEB方式

会場 大阪府建築士会 東会議室
※WEB方式はTeams使用

参加費 1,000円
※資料印刷代及び事務局経費

受講対象者 一級建築士、二級建築士

2024年度活動報告会&交流会
4/10

建築士会って何してるところ?どうすれば活動に参加できるの?と疑問に思ったことはあ

りませんか?その疑問にお答えします。
ひとりではできないことも、集うことでできることがあります。新しい仲間づくり・ネットワークづくりを楽しみましょう。知人・友人の方に是非お声掛けください。気軽に参加ください。

日時 4/10(木) 18:30～20:30

場所 大阪府建築士会 東会議室

参加費 無料

落語家と行く「川からみる大阪クルーズ」
4/27

本年、行われる建築士会全国大会おおさか大会のプレ企画として実施します。おおさか大会で実際に実施予定の企画で全国の建築士の皆さんに川からおおさかの景色を楽しんでもらいたいと思います。

日時 4/27(日)
9:30～12:00(集合8:30)

集合場所 湊町リバープレイス裏の湊町船着き場

料金 会員8,000円 会員外10,000円

定員 40名

行程 湊町船着き場9:30出航→道頓堀川→東横堀川→東横堀水門→大川(桜橋付近でUターン)→寝屋川(大阪港付近でUターン)→堂島川→安治川→ユニバーサルシティポート12:00着

※その後万博へ行かれる方はチケットをご自身でご購入ください。

※ユニバーサルシティポートから万博会場へは別会社の船便またはJR桜島駅からシャトルバスをご利用ください。



Informationの詳細及び申込みは大阪府建築士会ホームページに掲載しています。
<http://www.aba-osakafu.or.jp/> メール info@aba-osakafu.or.jp
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

その他のお知らせ

構造計算適合性判定機関が実施する 構造計算適合性判定の手数料設定要 領の策定について

大阪府では構造計算適合性判定（以下、適判）の委任を「大阪府構造計算適合性判定委任基準」に基づき行っており、適判機関の手数料は「合理的な理由がない限り、大阪府建築基準法施行条例第73条第3項に掲げる額とする」と規定しております。

このたび、大阪府では適判機関が合理的な理由を以て府条例に掲げる額以外の額を手数料として設定するための要領を策定致しました。今後、各適判機関の手数料が改正されると見込まれます。なお、新手数料の額、適用開始日については、各機関のホームページよりご確認ください。

安藤忠雄展2025 ―青春― 3/20～7/21

本展は、建築家安藤忠雄の壮大な挑戦の軌跡から、現在、未来までを展望するものです。模型やドローイングといった貴重な設計資料から、ヴァーチャルの限界に挑む映像インスタレーションなど、多彩な展示物が散りばめられた会場を巡りながら、建築という文化の豊かさ、挑戦する人生の妙を知ることとなるでしょう。

日程 3/20（木）～7/21（月）

会場 グラングリーン大阪

うめきた公園 ノースパーク【VS.】

HP <https://vsvs.jp/>

特定建築物定期調査業務「スキルアップ講習」 4/23

ストックの時代を迎え、建築物の安全性の確保のため、定期調査・検査はますます重要となっています。国土交通省は、平成28～30年度に行った実態調査結果を踏まえ、令和元

年12月に地方公共団体や関係団体に対して、調査者・検査者等を対象に適切な調査・検査の実施について周知を行うこと等を求める通知を行っています。

本講習はこの要請を踏まえ、（一財）日本建築防災協会が定期調査に従事する特定建築物調査員、建築士等を対象に、実態調査で得られた事例、最近の事故事例などを示しつつ、国土交通省告示に基づく調査業務に即した実務的かつ具体的な事項を示した「スキルアップテキスト」を基に令和3年度から実施しているものです。

日時 4/23（水） 13:30～17:55

詳細 一般社団法人大阪府建築士事務所協会
<https://www.oaaf.or.jp/>

2025関西・大阪万博記念国際フォーラム 5/12

森林認証材利用の意義等をオンラインでも発信し、国内外にアピールするとともに、万博の成功を祈念し、PEFC本部、及び各国のPEFC管理団体等関係者の参加も得て国際フォーラムを開催します。

日時 5/12（月） 14:00～16:50

会場 大阪国際交流センター
オンライン

参加費 無料

詳細 一般社団法人緑の循環認証会議
SGEC/PEFCジャパン
<https://sgec-pefc.jp/>

近畿職業能力開発大学校主催 能力開発セミナーのご案内 5/13、5/17、5/20、5/24、6/4、6/11

■BIMを用いた建築設計技術

～これからBIMを使いたい方に～
建築設計の生産性の向上を目指して、BIMソフトのRevitを用いたモデリング及び作成データの活用に関する技術を習得します。

日時 5/13（火）、5/20（火）

10:00～16:45（2日間・合計12時間）

受講料 12,000円（税込）

■実践建築設計3次元CAD技術

基本設計図作成の効率化を目指して、3Dマイホームデザイナーを使って施主に対する提案を可視化する3次元のモデリング、外観、内観パースの作成方法について習得します。

日時 5/17（土）、5/24（土）

10:00～16:45（2日間・合計12時間）

受講料 12,000円（税込）

■建築設計のためのコンピューショナルデザイン

建築設計の生産性の向上のために、ビジュアルプログラミングソフトを、外装材の割り付けや配置、複雑な屋根形状や勾配の検討などに活用する技術を習得します。

日時 6/4（水）、6/11（水）

10:00～16:45（2日間・合計12時間）

受講料 14,000円（税込）

詳細・申込 近畿職業能力開発大学校HPよりご確認ください。

<https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/index.html>

「建築人」Gallery掲載作品の募集

本誌「建築人」は毎月約3,000部を発行し、本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。Gallery掲載作品は「建築人賞」の候補となります。

●掲載記事 1頁カラー、写真4点程度

●掲載費用 100,000円

※1 初回割引80,000円（設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合）

※2 若手初回割引50,000円（40歳以下かつ建築設計事務所を主宰され※1を満たす方）

●詳細・申込 事務局担当：母倉
e-mail: info@aba-osakafu.or.jp
TEL: 06-6947-1961

News of Note

地域まちづくり委員会 南河内の紹介

- 南河内地域の建築士が定期的に見学会や勉強会を通じて建築士のスキルを磨き、親睦を深める会です。
- 南河内は世界遺産の百舌鳥古市古墳群、聖徳太子の叡福寺、天野山金剛寺、観心寺、富田林寺内町などの史跡に恵まれた地域です。
- 幹事会は毎月開催しており、見学会、勉強会、年2回のゴルフコンペ等、楽しく学べる企画を心掛けています。
- 2025年の予定企画として検討中

- ①木工製作体験 ④塗料で失敗しない方法
- ②造園の話 ⑤その他
- ③ディープな大阪街歩き



この辺



★五條市街歩き



★木工体験



★工場見学



★太子町梅鉢御陵見学会



★誉田八幡宮拝殿大屋根改修見学会



★秋のゴルフコンペ

大阪で一番高い
金剛山があります。
1,125 m



南河内のメンバーです

万葉集に詠われる
二上山があります。

古墳も
たくさんあります。

一緒に活動して頂ける方を大歓迎します。
「ヨシ」と思った方は
建築士会事務局 樋口(06-6947-1961)
まで

松原市

羽曳野市

藤井寺市

富田林市

河内長野市

大阪狭山市

太子町

河南町

千早赤阪村

研修委員会の紹介



研修委員会 委員長(令和6年度) 吉村淳二

研修委員会では、建築士法に基づき、建築士に対しその業務に必要な知識及び技能の向上を図るための建築技術に関する研修として、委員会で企画する独自の見学会・講習会の他に、各種定期講習会、監理技術者講習、建築士会連合会からの推奨研修を大阪で開催するなど、多岐にわたる魅力的な建築技術講習会を行っています。また、講習会に参加すると付与されるCPD制度の運営及び推進、専攻建築士制度の運営及び推進を行っています。CPD制度を推進・普及させるために、年に一度CPD表彰を行い、表彰された個人の方や企業に対して総会で表彰式も開催しています。

◆具体的な活動内容

【立命館大学 大阪いばらきキャンパス 新展開施設H棟 建築技術講習会】

立命館大学大阪いばらきキャンパス新展開施設H棟は、社会に新たな価値を創出し続ける実証実験の場「TRY FIELD」として2024年4月に誕生した施設です。社会とのつながり、学生・教職員をはじめとするあらゆる人々の「やってみたい」という気持ちを刺激し挑戦を後押しする共創空間や新しい仕掛けの学習環境を整えた施設となっています。建設に携わられた設計者と施工者から、実現への取り組みや建物に込められた想いを伺い、その後、実際に施設をご案内いただきました。多層にわたって少しずつずれながら連なる吹抜け空間や最新の設備を備えたインタラクティブな講義室など、魅力的な空間が多く満足度の高い建築技術講習会となりました。



立命館大学大阪いばらきキャンパス

【大阪・関西万博 大屋根リング見学会+説明会】

今年度開催される大阪・関西万博、一足先にその目玉である世界最大級の純木造建築物である大屋根リングの設計者と施工者による見学会+説明会を開催しました。実際に大屋根リングに登り、その壮大なスケールを体感いただくとともに、施工中の様々なパビリオンをリング屋根から眺めていただきました。



大阪・関西万博 大屋根リング

皆さんの関心も非常に高く、申し込みを受け付けてすぐに満員御礼。このような企画ができるのも当委員会が様々な組織からの委員で構成され、各方面に繋がりを持っている方が多く参加されているからだと思います。この場をお借りして委員の方々に感謝申し上げます。



祇園甲部歌舞練場

【祇園甲部歌舞練場見学会】

伝統伎芸「都をどり」の専用劇場兼、祇園甲部の芸舞妓のための稽古場である祇園甲部歌舞練場の耐震改修プロジェクトです。前例の無い大規模木造建築の鉄骨による耐震補強を行い、且つ、建築基準法の適用除外も実施されています。担当された設計者から計画内容および施工における留意点を直接説明いただき、解説付きで建物内を案内いただきました。京都の伝統文化と最新の建築技術が融合して初めて実現が可能であった非常に貴重なプロジェクトでした。

以上の通り、今後も皆さんに参加したいと思ってもらえる魅力的な建築技術講習会を次々と企画しますので、ホームページを見逃さないよう宜しくお願い致します。



城址との対話が育んだもの

弘前市庁舎 一九五八年

文・写真 松隈 洋〔神奈川大学建築学部教授〕

二〇二四年二月と十月、前川國男の手がけた八つの建築をめぐる企画への協力を依頼されて、青森県弘前市を訪れる機会があった。弘前市民会館の指定管理者（ひろさきツールツリーグループ）の主催、弘前市の後援による「建築家前川國男の世界」と題する連続ワークショップである。全体の統一テーマは、各回二日間の座学と見学会、座談会などを通して、前川の思想と方法を育んだ弘前の歴史と風土の意味を再考することにあった。実は、初回の開催を冬季に選んだのも、一九三二年のデビュー作の木村産業研究所が多雪地域の試練に遭遇し、二七歳の前川の味わった手痛い挫折を体験して実感したいと考えたからだだった。

さて、写真は、うつすらと雪が積もった二月の弘前市庁舎の姿である。この市庁舎は、前川が弘前市の公共建築として最初に手がけた記念すべき建物だが、残念ながら、一九五八年の竣工時に建築雑誌には発表されなかった。しかし、今から振り返るとき、

その後の前川の歩みの起点とも言える重要な意味を持つていたことが見えてくる。それは、竣工直後に地元の方紙に寄稿した前川の次のような文章からも読み取れる。

「その街は三六〇有余年の永い歴史の歩みを、その文化的遺産の中に秘め、今日尚よく伝え残している稀有な町である。（…）古いものと新しいものが同時に生きていて、古い文化が人々の生活に深く根を下ろしていると共に、さらに次々と新しい文化を摂取しようと思わない街でもある。その街が『津軽』であり『弘前』である。（…）この街の文化は、先ず津軽氏の業績と共に開花する。（…）しかしながら卓抜たる祖先が遺したものは、この文化財自体のみではなかったのである。それはこの優れた遺産を通じてそれらを造り、それらを産んだところのこの街の祖先のもった、優れた文化的明敏性と、その進歩的精神をも共に遺して往った。」（贅句一束）『東奥日報』一九五九年四月五日

ここに書き留めた言葉の行間からは、当時の前川が何をみつめ、何を引き継ごうとしたのかが伝わってくる。そして、続く文章の中で、市庁舎の設計に取りかかる際に抱いた想いをこう記したのである。

「私がこの由緒ある街の一角の、誇り高い城址を臨む地に、新市庁舎の設計を委任された時、先ず考えた事は、以上の様な事であった。（…）藩祖の残した、あの精神の高さを正しく、伝承する限り、城址と対比出来る格調の正しい建築を、現代の我々の『手』をもつ

て実現出来ると確信を得た。旗が風に鳴って翻える想いである。」

ちなみに、市庁舎の建設地に選ばれたのは、弘前城址南端の大手門と外濠に面し、明治時代からの軍都・弘前に置かれた陸軍第八師団の木造の長官官舎の跡地であり、官舎の一部は、敷地の南西部に曳家されて、現在は喫茶店として活用されている。桜の名所としても名高い弘前城は、慶長十六年（一六一一年）に築城され、東西約六〇〇m、南北約一〇〇〇m、面積約五〇haの広さを有し、城内には、天守閣や三棟の櫓、五棟の城門が遺されており、いずれも国の重要文化財に指定されている。弘前は、幸いにも空襲は免れたが、敗戦後の大きな課題となつたのが、城址に数多く残された兵器支廠や火薬庫、弾薬庫など数多くの軍事施設の撤去と、軍都から観光都市への転換だった。一九五六年の城址を中心とする弘前公園一帯の国の史跡指定は、そうした弘前の戦後復興の節目であり、そのことを受けて、市庁舎の計画が進められたのだろう。

そんな中で、前川は、母・菊枝の郷里でもある弘前に自らの設計で市庁舎を手がけるにあたって、図らずも、その立地から弘前城という歴史的な遺構とはじめて意識的に向き合うことになったに違いない。そこには、同時期に設計が進められ、同じ年に竣工するブリュッセル万国博覧会日本館の仕事で訪れたベルギーの古都ブルージュの中世の面影が色濃く残る街並みから受けた印象も、歴史への眼差しを促したのだと思う。また、一九五〇年代に精力的に試みた構造体の単純化と建築の工業化の蓄積による手応えもつかんでいた。

た。そして、多雪地域の気候風土に対する先人たちの生活の知恵として、「こみせ」（雁木）と呼ばれる積雪時の歩行者の通路確保のための通り沿いの柱廊と庇にも着目していたのである。

こうして、前川は、「城址」と対比出来る「格調の正しい建築」を、「現代の我々の『手』をもつて実現出来る」との「確信」を持つて、同じ文章に綴られた次のような造形を組み立てていく。すなわち、建物を構成する構造体は、「人体の骨格」に相当するものとして、「コンクリート打放し肌仕上げ」の柱と梁によって、「粉飾」せずに「そのまま表わすこと」で「力強さ」を表現し、「こみせ」に倣って、建物全体に深く張り出した大庇をめぐらせる。また、「雪に閉ざされて、色彩を失った世界に彩りを与えよう」と、外壁や腰に赤色の「焼物ブロック」を積み、正面入口の大庇の軒裏を鮮やかな青色に仕上げる。さらに、冬季の厳しい気候に対応すべく、開口部には、外側のスチール・サッシの内側に木製サッシを設けて二重とする工夫も施された。完成した市庁舎の造形は、一九六〇年に竣工する京都会館へとつながっていく。

弘前市庁舎は、その後、前川晩年の一九七二年に、東側に打込みタイル張りの塔状の新館が建てられ、没後三〇年を迎えた二〇一六年に、南側に新館が増築されて、三代にわたる建築群の構成となった。惜しくも、この新館の増築時に、勾配屋根を持つ議会議室部分は解体されてしまったが、「前川本館」と呼ばれる弘前城址側の北側外観は、今もなお、前川の実現させた風土と歴史に根ざす力強く骨太なたたずまいを湛えている。



大手門前から外濠越しに見る外観全景



二階から見る本館(右)と新館(左)

飽く ことなく、 美しく。

“美しさ”への感動は儂く過ぎ去り、
時が経つにつれて生じてしまう、慣れや既視感。
そして人はまた、何かによって心を動かされる体験を欲し、
変化を欲望し、新しいものを生み出すエネルギーを発現させてきました。
—より美しいものを、より良いものを。
私たちユニオンは、ドアハンドルをはじめとする建築金物を
“アートウェア”の領域へと磨き上げ、空間と人の心に語りかけてきました。
私たちを突き動かすもの、それは“美”への探究心です。
飽くことなく追い求める美の先に、新しい感動が、
新しい空間文化があると信じ、私たちは挑戦を続けています。

株式会社ユニオン

[本社・大阪支店] 550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731

[東京支店] 135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811

[名古屋営業所] 454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221

UNION
ARTWARE



四季折々の表情を見せる庭園が眼前に広がり、来客者を迎えるエントランスホール



寄棟の屋根に呼応した勾配天井で構成し、外部テラスが連続する3階執務室・ラウンジ